

事業番号	12	事業名	生涯学習フェスティバル
------	----	-----	-------------

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

- 国費を投入せずとも、フェスティバルの運営等を支援することができる。国費を投入しない方策を検討すべし。
- 本事業がスタートした20年前とは環境が大きく変わり、フェスティバル形態は、事業目的に対して有効性が薄れている。一旦廃止して、別途考え直す方がよい。
- 生涯学習の普及・啓発に対して、当該事例のようなフェスティバルは有効性が低い。むしろ全国において活動している方々によって、全国レベルのシンポジウムを開催するなど国費を投入すべき。
- 生涯学習の重要性は十分に認めるが、フェスティバルは必要ない。フェスティバルをやってもやらなくても生涯学習の普及に関係しないと思える。また、より生活に根ざした実感として、このようなフェスティバルで啓発されて何かを始めることよりも、日常生活の中での友人・知人との関わり、メディアを通じての情報取得の方が、はるかに影響力がある。
- 岩手県までは実施したらどうか。各市のJC（日本青年会議所）・PTA協議会・教育委員会共催の「教育フォーラム」を細かくやる方がいいのでは。そろそろ、例えば、大人と子どもがともに学ぶ「よのなか科」の授業のような「生涯学習」と「学校教育」の融合が必要。
- 生涯学習の中味を吟味すること。フェスティバルの課題設定に問題があるのではないか。
- 抜本的な改革を検討したので、その成果を評価した上で、これまでの形では意味と意義はないと判断してもよいのではないか。研究・実践交流の場を新たに作る必要はある。
- 高知県の取組み後に判断すべきと考えます。

評価結果

廃止

見直しの余地なし	0名
要改善	3名（事業規模1名、事業内容3名）
廃止	5名

（注）要改善の（ ）書きは改善内容を示し、複数選択を可能としている。

とりまとめコメント

本事業については、廃止5名との結果を踏まえ、廃止という結論とし、生涯学習フェスティバルの目的・趣旨を明確にすべきであり、これまでの成果を踏まえ、国費の投入については一旦廃止をした上で再検討すべき、生涯学習に関する研究者、事業家、企業やNPOなどのネットワークの形成といった取組みへの支援に重点を移すべき、というまとめにしたい。

なお、岩手県（平成23年度開催）までは実施してはどうかとのコメントがあったことを付け加えます。